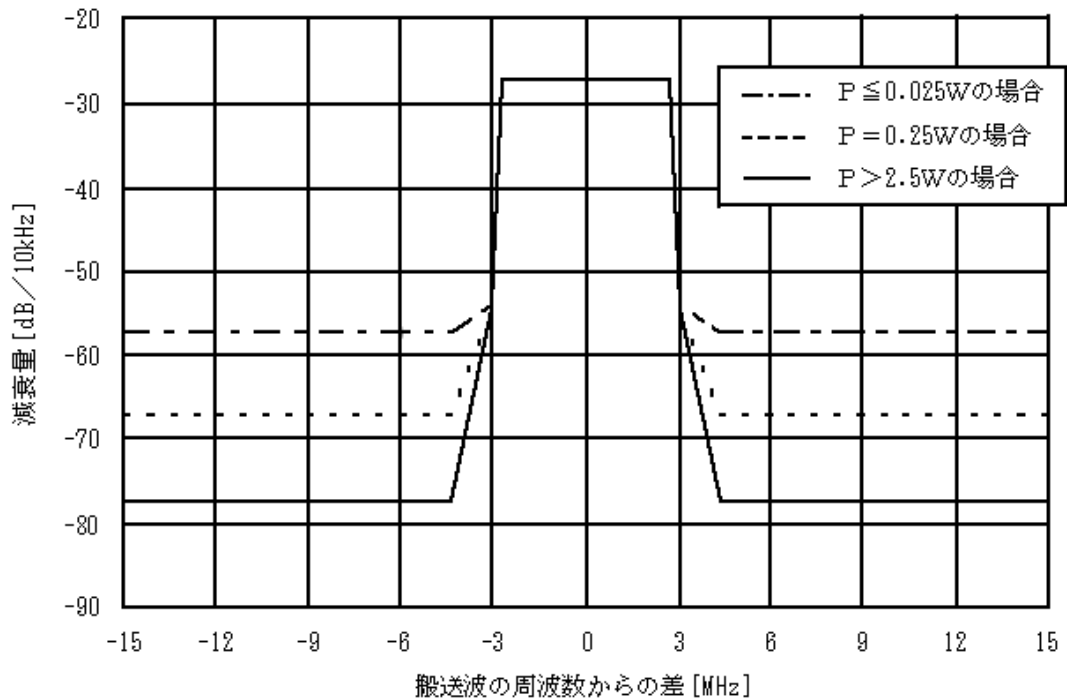


別図第四号の八の八 搬送波の変調スペクトルの許容範囲(第37条の27の10第4項関係)



搬送波の周波数からの差	平均電力Pからの減衰量	規定の種類
±2.79MHz	-27.4dB/10kHz	上限
±2.86MHz	-47.4dB/10kHz	上限
±3.00MHz	-54.4dB/10kHz	上限
±4.36MHz	-77.4dB/10kHz <sup>*1*2</sup>	上限

\*1 空中線電力が0.25Wを超え2.5W以下の無線設備にあつては $-(73.4+10\log P)$  dB/10 kHz、空中線電力が0.25W以下の無線設備(\*2の場合を除く。)にあつては-67.4dB/10kHzとする。

\*2 空中線電力が0.025Wを超え0.25W未満の無線設備にあつては $-(73.4+10\log P)$  dB/10kHz、空中線電力が0.025W以下の無線設備にあつては-57.4dB/10kHzとする。

注 複数波同時増幅を行う無線設備の隣接チャンネル間については、上表にかかわらず、平均電力Pからの減衰量-27.4dB/10kHzを上限とすることができる。